

## 平成29年第2回清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会 議事録

日時:平成29年12月15日(金)

14:00~16:00

場所:OKBふれあい会館

14階 展望レセプションルーム

### 1 開会

[司会(上村 恵みの森づくり推進課管理調整監)]

それでは、定刻となりましたので、ただいまから清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会を開催いたします。

本日は、ご多忙のところご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は本日の司会を務めさせていただきます、恵みの森づくり推進課の上村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。はじめに確認をさせていただきたいことがございます。本日、報道関係者の取材があった場合、撮影についてご了承いただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

(委員了解)

なお、笠井委員の到着が30分ほど遅れるとご連絡をいただきましたが、先に会議を開始する旨了解いただいておりますので、このまま会議を進めさせていただきます。

それでは、まず、林政部長よりご挨拶を申し上げます。

### 2 あいさつ

[高井 林政部長]

(あいさつ) ~略~

[小見山 会長]

みなさん、こんにちは。第1回は欠席いたしましてご迷惑をおかけしました。半年ほどタイのチュラロンコン大学で森林生態学の専門家として、客員教授としておりました。外国でもタイは一次生産が大変重要な国であり、森林局というところがある。そういう人たちとかなり会話をしました。この50年間で森林率が半分になって、現在30%以下になっている状態で、山火事の問題、水害の問題、干ばつとか共通点もあるが、違うところもいっぱいある。たとえば、野生鳥獣の問題はでてきたら鉄砲で獲るので問題にはならない。

森林環境税を紹介したところ、大変うらやましいということだった。一つは、公の資金がそれぞれの地域にとって方向性をもって使われないといけない、それにぴったりであること。もう一つは、NPOとか民間の力をアップできる、これが大変大事なところだと思います。今から評価する森林環境税の岐阜県版は、間伐、野生鳥獣、木育の三本柱があるが、大学を含めた学位、行政、民間の力を一体化して清流の国ぎふを作る、大変すばらしい試み。委員は5人ですが、相手はこれだけいるので、厳しめの意見をどんどん出していただき、活発な議論、適正な評価をしていただきたいと思います。

## [司会]

ありがとうございました。

本日の出席者の紹介はお手元の出席者名簿に代えさせていただきます。会議終了時刻は16時頃を目途にしておりますので、会議進行にご協力願います。

では、このあとの会議進行は、小見山会長にお願いします。

## [小見山 会長]

はい、それでは只今から、報告事項が1点と議事が1点ある。報告事項が終わるくらいに笠井さんがいらっしゃるのかと思っております。

では、はじめに、平成29年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業の取組状況について説明をお願いします。

## 3 報告

### 平成29年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業の取組状況について

#### ●森林部門の事業について

主に目標値に達成することが難しい事業について説明

#### [説明1(尾関 恵みの森づくり推進課長)]

(資料1(及び2)により、主に事業見込みから変更のあった事業を説明。環境保全林整備事業、里山林整備事業、ぎふ木育拠点整備事業、の3事業を説明)

～略～

#### [説明2(亀山 農村振興課長)]

(資料1により、野生鳥獣保護管理推進事業(ニホンジカ、イノシシ等の捕獲推進事業)を説明)

- ・指定管理鳥獣捕獲について、認定鳥獣捕獲等事業者が3月に県内で初認定されたことから、今年度初めて一般競争入札したが価格が折り合わず入札不調であり、現段階で事業実施できていない。少しでも被害を減らすよう事業期間や捕獲頭数を当初計画から縮小して3月末までに事業を実施する見込み。

～略～

#### [説明3(上口 農地整備課技術指導監)]

(資料1により、用排水路・河川落差解消支援事業、小水力発電による環境保全推進事業を説明) ～略～

#### [説明4(井上 河川課長)]

(資料1により、河川魚道の機能回復事業を説明) ～略～

**[小見山 会長]**

じゃあ、委員の方から質疑を承りたいと思います。いかがですか。

イノシシの捕獲が11月末で0頭ということですが、第1期の最終年度はどうなっていましたか？昨年度はイノシシとシカをひとまとめにしており気づかなかったのかもしれませんが。

**[酒井 農村振興課鳥獣害対策室長]**

昨年度は200頭の目標に対して150頭です。

**[小見山 会長]**

おおむねいいところまでいったということですね。今年が0というのは、いろいろと事情があるのはわかりますが、県の農産物被害が2億5千万円くらいあって、トップがイノシシですよ。

**[亀山 農村振興課長]**

入札が不調になり、現在進捗は止まっている状況ですが、3月までには少しでもとるように、いま事業を考えており、準備をすすめています。

**[小見山 会長]**

有害、狩猟があると思いますが、それらの関係はどうなっていますか。

**[亀山 農村振興課長]**

資料4の別紙2をご覧ください。

捕獲は4種類あり、まずは許可捕獲として被害防止捕獲、通常有害捕獲とっております。さらに許可捕獲として個体数調整捕獲があり、これはニホンジカの個体調整を目的としたものです。趣味として捕獲するのは狩猟で、指定管理捕獲事業、これは環境省の事業で一部森林・環境税を使っています。捕獲の種類については、この4種類です。

さらに年間捕獲目標ですと、ニホンジカは年間合計16000頭で個体調整7000頭、指定管理鳥獣が500頭、有害捕獲4000頭、狩猟が4500頭。

イノシシにおいては、指定管理鳥獣が200頭、狩猟5000頭、有害9800頭で年間合計15000頭を目標としています。森林・環境税を活用しているのは、個体数調整捕獲と指定管理鳥獣害捕獲です。

**[小見山 会長]**

時間がないので。総合的にみて管理できればいいが、シカは個体数管理がわりにしっかりしていて、現数推定がでているが、イノシシは出てないので何頭とっていいのかわからない、この辺はどうお考えですか？

**[酒井 農村振興課鳥獣害対策室長]**

イノシシは年間10000～15000頭の間で有害と狩猟で捕獲されております。

指定鳥獣事業は、それに加えて被害が多い地域に集中して200頭獲ろうとしています。

**[小見山 会長]**

いろんな横の並びもあるので、税の使い方をうまく考えないといけないという意見です。

**[木田 委員]**

木育拠点整備事業で、廃棄物が見つかったということで、計画で聞くべきかもしれませんが、遅れる見込みなどどれくらい明らかになっているのでしょうか。

**[藤掛 恵みの森づくり推進課木育推進室長]**

現在調査しております、すでに当初の計画より4か月遅れております。もう少し詳しい調査が必要なので、半年から1年間遅れる見込みです。

**[小見山 会長]**

木育、野生鳥獣、間伐は税の大きな使いどころだと思っておりますが、間伐は11月末までに75%の見込みとありますが、これから目標達成へ補完していくのですか。

**[岩月 森林整備課長]**

北部は雪がありますが、南部は雪がないところもあるので引き続きPRにつとめ間伐の実施に努めていきたいと思っております。

**[小見山 会長]**

よろしく申し上げます。この報告は次の審議事項と密接に関わっていきます。時間も差し迫っておりますので議事に入りたいと思っておりますが、笠井委員もまだですし、もう一つくらい意見はいかがですか。

**[徳地 委員]**

ゾーニングが変わって木材生産林となったということで環境保全林事業ではなくなったということですが、全体の割合としては、環境保全林の対象となる森林は減っているのですか。

**[岩月 森林整備課長]**

減った理由としまして、今年から100年先を見据えた森林配置を進めるため配置計画が導入されました。各市町村で配置計画をすすめるにあたり、木材生産林、環境保全林と区別していますが、現時点で整っているわけではありません。

**[小見山 会長]**

当初予算額のカッコは国費ということですか。

**[岩月 森林整備課長]**

カッコ書きは国庫補助金が含まれています。

**[小見山 会長]**

平成30年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業計画案について事務局説明願います。

#### 4 議 事

##### 平成30年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業計画案について

##### ●全体計画について

##### [説明1(尾関 恵みの森づくり推進課長)]

(資料3により、全体計画案を説明)

主な事業として予算の増額等をした事業を説明。環境保全林整備事業、観光景観林整備事業、野生鳥獣保護管理整備事業、水みちづくり推進事業、木質バイオマス整備事業、県産材利用促進事業(木の香る)、県産材利用促進事業(ぎふの木で学校まるごと)、ぎふ木育・環境教育推進事業(森と木と水の環境教育) ～略～

##### [小見山 会長]

ありがとうございました。続いて個別事業の説明ですが、今の減額、増額についてずいぶんとお考えになってやられたと思います。しかし個別事業シートを見た時に、平成29年度、30年度にほとんど実績があがってない事業がないこともない。そういう場合、配分された案がどのようになっているのか委員の方ぜひ目を通してほしいと思います。ただ、ここにあがっているのは、大変必要なものばかりだと思いますので、そういうところも考えないといけない。

続いて個別の事業ごとに評価シートを説明していただきます。

資料4の表紙の順に説明していただきますが、大きく森林部門、環境部門でわけてそれぞれ質疑応答の時間を設けます。途中で少し休憩をいれます。

##### [説明2(尾関 恵みの森づくり推進課長)]

##### ●森林部門について

(資料4により各事業を説明。評価シートは次回(2月)に本日の委員の皆様の意見を踏まえて示させていただきたい)

環境保全林整備事業、100年先の森林づくり整備事業、公有林化支援・推進事業、里山林整備事業、観光景観林整備事業、木質バイオマス利用施設導入促進事業、木の香る快適な公共施設等整備事業、ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業、県民協働による未利用材の搬出促進事業、ぎふ木育総合教材導入支援事業、森と木と水の環境教育推進事業、清流の国ぎふ地域活動支援事業、清流の国ぎふ市町村提案事業  
～略～

##### [小見山 会長]

ありがとうございました。では、委員の方々、ご質問、ご意見お願いします。どこからでもかまいません。

1番目、間伐ですね、環境保全林整備事業と100年先の森林づくり普及推進事業、これはいわば針葉樹林から広葉樹林への林種変換と考えればよいですか？

##### [丹羽 林政課長]

おっしゃるとおり、2番は針葉樹林から針広混交林化していくための検証事業です。

**[小見山 会長]**

下の方の実施内容で、図が描いてあるが、間伐の中身で点線と青い色の枠が書いてありますが、これはなんですか？

**[丹羽 林政課長]**

点線はシカの防護柵を示しており、その中の四角いところでどういう風に広葉樹が入っていくのかをみていきます。エリアということです。

**[小見山 会長]**

いわゆる更新の試験地ということですが、鳥獣害の圧力がかからなかった場合を調べるということによろしいですか。鳥獣害の圧力はかかり続けるのではないですか。それは、試験の中にいれなくてもいいのですか。

まあ、それは試験のやり方ですからこれからご相談していただいて、これがラテラルに進むと1とリンクするのではないですか。つまり、1のやり方、これが列状なのか定性なのかわかりませんが、多分モザイクは無いと思うが、見直しながら見直しながら適正なやり方で適正な面積を出していく、これがいいと思います。まだ始まったばかりだから仕方ないが、1と2のリンクをぜひこれから考えていかないと、間伐したが、その後どうにもならないではどうしようもない。1の場合は、針葉樹の更新まで入ってくるかもしれません。その辺りお願いします。

**[笠井 委員]**

10ページの木育拠点整備ですが、地中から廃棄物が出てきたということで、昨今国レベルでは、森友問題とかもありましたが、参考までになにがどれくらい出てきて、予算とか除去する量とか見込みとか教えてください。

**[藤掛 恵みの森づくり推進課木育推進室長]**

調査の結果ですが、量については、3500㎡程度確認されております。ただこれは、土と混ざっており、少ないところではたとえば1割程度、多いところでも4割程度ということで全量がゴミというわけではありません。

有害物質は、いま安全性の調査をしておりますが、現段階で、調査箇所の何箇所かで環境基準を超えるヒ素が確認されています。そのヒ素がさらに下層土壌のどこまでいっているのか調査を継続しているところです。

ただし、撤去については、今のところ予算は計上していません。まず大前提として、所管する法律、土壤汚染対策法や廃棄物の処理及び清掃に関する法律において、面積要件等基準を下回っており、法律的義務として撤去する義務はありません。ただ、私どもとしましては、地域住民の安全、安心のため調査を行っており、その結果どうするかは、また、対応してまいります。

[笠井 委員]

ありがとうございました。

9ページの林地残材を搬出するのは大変結構なことだと思いますが、参考までに4390tはかなりのボリュームですが、どうやってカウントして事業者へ払うのか、どういう仕組みなのか教えてください。

[中園 県産材流通課管理調整監]

実際に搬出する軽トラなどの車両を計量することにより、車がどれだけ、搬入したかどうかボリュームを計りまして、マニフェストに応じた伝票により請求していただくことになります。

[笠井 委員]

いわゆる書類で確認するということですか。

[中園 県産材流通課管理調整監]

はい、そうです。

[小見山 会長]

今のところで、私がちょっと気付いたのは、改善点として、目標の達成に向けて引き続き事業を推進するとあるが、これは当たり前のこと。改善という以上、進捗率をもうちょっとあげたいということならば、制度を一般に普及するとか、あるいはやる場を開拓するとか、やる人を開拓するとか、どれに焦点をあわせるのか、これは書類の書き方だと思います。ほかのところもそうだが、多くの書面、シートで改善点が見えない。もうちょっと別の資料でわかるのかもしれないが、シートはシートなのでわかるようにしてほしい。よろしくお願いします。

[徳地 委員]

バイオマスや観光林は、啓発というか皆さんに知っていただく部分がものすごく多い。

観光林は採算が悪いけれども、本当に良かったという声もあり、バイオマスもそういう使い方もあったのか、といった普及活動をセットにやっていただくと、観光林だと綺麗でよかったという声をいただきやすいので、ぜひアンケートをやっていただいて、県民に大きく宣伝できるようにしていただけると効果的だと思います。

あと、先ほど小見山先生もおっしゃいましたが、1の試験を2にフィードバックしていくが、この実験設定だとおそらく何もでない。というのは、とてもシンプルすぎて、面積を計算すると繰り返しが2くらいしかない。繰り返しが2しかないので統計にかからない。雰囲気でこれの方がよかったとしか話ができない。ものすごく違えば雰囲気でもいいが、せつかくやるならば、この5か所を3か所、2か所にして繰り返しをとって、成果を出した方が皆さんに示しやすいと思うので、また検討してほしい。

[小見山 会長]

重要なものをかいつまむのもいいのですが、13ページの地域支援、これNPOの方たちで

すね。昨年は150%の進捗率、これ件数ですけど、高い。それに比べて市町村提案事業、これは100いかなかった、この二つは森林整備の機動力となり必要であるので、この理由は大変大事だと思います。塩梅を変えるとか、改善を引き続きではなくて、増額するとか明確な指針を出すべきではないですか。

#### [尾関 恵みの森づくり推進課長]

指標が件数となっており、今年度88%となっております市町村提案事業については、予算の範囲内でやっていますので、事業費が多いものが集まれば、市町村にはどんどんやっていただきたいが、目標件数はマックスまで届きません。現在30年度提案を募集しておりますが、多くの要望が集まった場合は、補正予算等検討するなどしてできるだけ多くの活動を支援していきたい。

#### [小見山 会長]

件数が多いと一つ一つが減額してしまう。いっそのこと、30年度の予算措置として多くしてもよいと思うので一度考えていただきたい。

#### [平井 林政部次長]

今から4年ほど前、小見山会長から市町村の提案事業なのに10万とかこんな細かいものをやるのか、という意見があり市町村の限度額を500万まで増やしたので、市町村は小さな事業ではなく、まとめて大きな額で申請するようになりました。最初は50件を予定していたが、500万の限度額いっぱい申請すると、どうしても予算が足りなくて、50件に達しません。また市町村も事業をまとめて申請するようになったので件数がどうしても減っている。1億2千万はだいたい必要だが、件数はどうしても減ってしまいます。

ただし、毎年市町村の精査をすると、1億2千万から残金が出てくる、市町村提案と地域活動で一つの枠として考えているので、市町村提案の残金をNPOがオーバーしたところにあてて補正をかけているのが現実です。このやり方がいいのか、最初からNPOを増やすのか、市町村提案事業でどれぐらいの提案が出てくるのか読めないのが、今は二つの事業の相互流用でやらせていただいています。

#### [小見山 会長]

ちょっとやっつけられた気分ですが。

今のやり方で私はいいと思います。二つがリンクしているのはいいことなので、ぜひお願いします。

#### [徳地 委員]

前に言ったかもしれませんが、岐阜の地域支援の団体ってお年寄りが多いと思うのですが、高校生とか中学生に50万あげるからなんかいいこと考えなさいっていう枠を作ると、そういう枠はあまりないので、多分生物部の子とか頑張ってくれるのではないかと、そうすると次世代も育つので、中高生、大学生を使うというなんか考えてもらうプロジェクトもしていただくと



よいと思います。

**[小見山 会長]**

それはいいアイデアですね。別枠にするか、1 枠をそれに細分するのか。また考えていただいて。

**[笠井 委員]**

1 3 ページの資料の写真をみて思ったのですが、多分河川の清掃をすると木質系が出てきます。それを最終的にたぶん燃やしちゃうのはもったいない。

ここで事業者の名前を申しますと問題なので言いませんが、国交省系の一級河川、国道の法面、河川敷、岐阜県管理の道路、河川も同様ですが、掃除、伐採することを繰り返して、他県からもそこへ持ち込まれて、たい肥化されています。たまたまOKB牧場にもそのたい肥をいれてみたら非常によかった。半年で改善された。

仮にほかの事業で膨大なバイオマスが出ている、それを燃やしているとすれば、こういった事業でなんらかのリサイクル的に活用する試験をやってみてほしい。燃やすより安いと思うので、検証し、この事業をやることで、県全体でお金が生まれるかもしれない。同じようなことを感じたのは、観光景観林で遊歩道ができて、観光客が増えるとお金が生まれる。こういうのは素晴らしいなと思っていました。

一番あとになったが、全般的に要望が多くなってきて、定着しつつあることは全般的な印象として素晴らしいと思うので付け加えます。

**[小見山 会長]**

再利用を考えるということで、できるだけそっち側にいった方が徳になる。ぜひお考えください。

観光景観林の図があるが、これは何を言っているのかさっぱりわからない。補足資料を見るとまだわかりやすい。公表するならばぜひお考えください。何をしたいのか対応してください。

**[竹中 委員]**

島根県で、イノシシの皮を加工してグッズとかペンケースとかにして売っているのをみたことがあるのでそういう利用方法もあるな、と思いました。

観光景観林ですが、岐阜県は木の国、山の国ですからとても美しいのが前提ですが、県内をバスとかで走っていると綺麗に伐採されて木がまっすぐに上に伸びて感動する場所がどこにあるのかなど。見えるものでも美しい、環境税が使われていることがわかるとよい。

1 1 ページですが、カスターネットの写真がありますが、また使いたくなるような、もう少しデザインを考えてほしいと思いました。

**[小見山 会長]**

ありがとうございました。対応よろしく申し上げます。さっき言われたのも実質が反映され

ますので。ちょっと時間オーバーしていますが大事なところなので。最後に一つくらい。木田さんどうですか。

[木田 委員]

シートの作り方ですが、事業の進捗のところ、事業量は計画と実績なのですが、事業費のところは予算だったり実績だったり。進捗ということならば事業費についても予算と実績がかかっていると数値、量だけでなくわかりやすいと思います。

[小見山 会長]

限られた紙面でしようがないかもしれないが、単にヘクターで示した方がよいのか、事業の内容をかいつまんで書いていただけたらもっとわかりやすいと思います。

[尾関 恵みの森づくり推進課長]

いま、ご提案いただいた件については、次回、見直してより見やすい資料とさせていただきます。

[小見山 会長]

時間の関係もあるので、これくらいでは、5分間の休憩に入ってください。

～5分休憩～

[小見山 会長]

じゃあ再開します。続きまして環境部門、説明をお願いします。

[後藤 環境企画課長]

資料4を説明

野生鳥獣保護管理推進事業、上流域と下流域の交流事業、生物多様性に配慮した地域づくり普及推進事業 ～略～

[亀山 農村振興課長]

資料4を説明

野生鳥獣保護管理推進事業、水みちづくり推進事業 ～略～

[上口 農地整備課技術指導監]

資料4を説明

水みちづくり推進事業、小水力発電による環境保全推進事業 ～略～

[井上 河川課長]

資料4を説明

水みちづくり推進事業（流域清掃）、河川魚道の機能回復事業　～略～

**[桑田 里川振興課水産振興室長]**

資料4を説明

河川魚道の機能回復事業　～略～

**[小見山 会長]**

委員の方のご意見、ご質問をいただきます。どこからでも結構です。

例えば、15ページですが、野生鳥獣保護管理推進事業ですが、岐阜大学がやっていますね。事業の進捗を人で測っていますが、これは人材育成ということですね。だけど、概要は調査研究や政策提案とかがありますが、年次別にわけていくのか、同時に29年度、30年度やるけどこれだけ人で評価を書いたのか、どちらですか。

**[後藤 環境企画課長]**

評価の一つの指標としまして、普及活動に対する参加人数がわかりやすいということであげています。この普及活動にとどまらず、野生生物の生息状況をいかに把握するのかということや、専門的な捕獲者をいかに養成するのかということなど、専門的な提言をいただき、県の施策に反映しています。これは、数字に表しにくいところですが、各年ごと、あるいは岐阜大学寄付講座の第1期に引き続いて第2期においても継続して提言いただき、施策に反映されています。

**[小見山 会長]**

紙面の制限から書けないのかもしれないが、わかるように書いてほしい。

もう一度言いますが、改善点ですが、引き続き事業を推進するというのがシートのデフォルトに入っているのだろうけど、やっぱりここは、仮に達成していても、改善はやっていかなければいけないので、もっと工夫をみせて、それを県民の方に知っていただく書き方にすべきだと思います。これはここだけではなくて全部です。

**[笠井 委員]**

15, 17, 18ページにかかる、獣害うんぬんですが、私は県の6次産業化のサポートセンターとして県から委託をうけていて活用の面で協力してしまして。ジビエの普及の障害は、捕獲者の技術のレベルの差、そこが一番大きいと思っていたが、そうではなく、もっぱら調理、端的にいうと60度以上の加熱は絶対だめ。60度以下でコトコトやるとむっちゃうまい。たとえば、15, 17ページで普及啓発やるのであれば、シンポジウムにきてくださいね、おいしいシカも食べられますから、とやるといいのではないか。本当においしいですよ。日本は魚食文化で、当然養殖物より天然の方がうまい、と思っている。同じことを西洋人は思っていて家畜なんかよりジビエの方がうまいと思っている。その文化の違いが日本では壁になっている。

一方、岐阜のジビエは対外的に評価されていて、石徹白のイノシシは非常に評価されていて、これは餌がいいのでしょうか。シカも西濃、東濃の方ががんばってしまして、非常にレベルがあがっていて東京方面にも出ている。岐阜ジビエのブランド化を行政等で旗振っているのもある

が、林地残材の利用とかがあるのであれば、ジビエの分野においても、未利用というか、この事業で目をむけてよいのではないか。少なくとも普及啓発とかブランド化などの他の施策との整合性を考えても余地があるので検討していただきたい。

19ページで、カワウを598羽毎年獲るとというのが、だからなんなのでしょう、さっぱりわからない。これを獲ることで何がどう変わったのか、さっぱり成果、効果もわからない。この598羽の目標もよくわからなくて、その割には事業費が2000万もかかっている、目標の意味合いなどを説明してほしい。

#### [亀山 農村振興課長]

約600羽ですが、生息羽数ですが県内では変動もありますが、毎年2000羽を超えるカワウが成育していて、捕獲しながらも、外から流入していて、ヒナが育って、親鳥になります。これを繰り返していますので、この数字は、被害額を半減することを目的に、生息羽数を半減すれば、だいたい被害額も半減していくという試算からこういう数字を出しています。

また、これ以外にも県事業でカワウの営巣地でのシャープシューティング等の手法を活用して、効果的に捕獲しながら、県事業も活用して生息羽数を半分にするよう取り組んでいます。

#### [笠井 委員]

だとすれば、もう少し、目標とかモニタリングの指標として、被害額を半減させるということに基づいているのであれば、それが見えるような、あるいはそれを追いかけていることが分かるような資料が望ましいのではないかと思います。

#### [亀山 農村振興課長]

今後そうさせていただきます。

#### [小見山 会長]

シカの場合はベイズ推定で全数推定をするわけです。生命表を書いて内的増加率などを出して、個体数がどれだけ岐阜県で増えるのか推定する。何頭獲ったらその増加がとまるのか、それを岐阜大学がやっている。本当を言えば、イノシシ、サル、ウサギ、カワウもそういう根拠を見ながらやらなければいけない。だけど、イノシシの全数推定はできないからなかなかやっていない。

だけど、できる限り、笠井さんがおっしゃったように、そういう根拠を、せっかく諮問機関があるのだから、諮問しながらこれだけとったら個体数の増加がとまりますよ、というのを示さないといけないと思う。捕っただけで終わる、捕ったところで増えてしまうという結果を引き継いでいるかもしれない。難しいと思うがご検討ください。

ほか、ジビエはどうですか。食品衛生法とか関わる法律があると思いますが、宿題をいただいたという風にみなしてください。うまく組み立てられれば不要物が有要物にかわる。

ほかの委員、いかがですか。

[徳地 委員]

この15ページの岐阜大学の寄付講座、2100万円というのは、500人を集めるためのお金ですか？

[後藤 環境企画課長]

500人を集めるのも事業の一環ではありますが、寄付講座で野生鳥獣の専門の先生を確保して人件費や研究に伴う経費です。県民の方に伝えることが重要ということで指標として普及啓発を上げていますが、シカの生息数の推計、被害対策、捕獲者養成確保対策等、色々な面で提言していただきまして、体系的な生物対策の施策に反映されている。

[徳地 委員]

そうすると、岐阜大学で研究する人がいて、その方が研究して成果を報告するのであれば、2100万はかなりきつい。准教授くらいの方だと思いますが、1人雇うと1000万くらいかかる。手伝いの方もいると思いますので、お金が動かせるのであればもう少ししていただけたら、成果があがるのではないかな、と思いました。

[小見山 会長]

ありがとうございます。大学で学理を学んだ人が県庁に帰っていく図式、これがここでは大事ですね。

[後藤 環境企画課長]

大学で専門の先生二人を任用いただきまして指導していただいておりますし、あわせて、県職員も寄付講座に農業、林業の職員1人ずつが行っております、年間にわたって主になって研究活動していて、戻ってきて実際県政にも反映させていただいております。

[小見山 会長]

木田さん、いかがですか？竹中さん何かございますか？

[竹中 委員]

28ページの写真ですが、これ、どのように機能されるのかわからないのですが

[井上 河川課長]

川には、川を横断する形で、ちょっとした堰があります。魚がその堰を登れないので魚道を設置し、魚があがったりするということで多様な機能を維持します。洪水がおきると詰まってしまうので、適時土砂を撤去する必要があります。大きな洪水だと修繕も必要なので、森林・環境税を使って点検、修理させていただいています。

[小見山 会長]

実際どれだけ通っているのか。モニタリングをやってほしい。

21 ページ、水田魚道ですが、事業内容の一番右にグラフが書いてありますが、どれぐらい効果があるのか示そうとしているのかしてないのかさっぱりわからない。資料としてこういうのはまずい。きちんとわかったことを的確に書いていただきたい。

**[井上 河川課長]**

フィッシュウェイサポーターに県民になっていただいております、遡上状況も確認していただいているのでわかる範囲で資料に入れていきたい。

**[小見山 会長]**

常に検証と改良を続けていただきたい。ほかいかがですか。

**[笠井 委員]**

26 ページ、小水力発電ですが、いろんな許認可とかあって今年度1件あるかないかだと、よほどがんばってこちらから手をまわして営業かけないと県をあげてサポートかけないとできないかもしれないと思っております。岐阜県らしい事業だと思うのでぜひ対策していただきたい。

**[小見山 会長]**

今のご意見について県の方で検討して対応していただきたい。よろしく申し上げます。

委員の方よろしいですか？

**[竹中 委員]**

小水力発電ですが、最初聞いた時、夢があるというか楽しい情景を思ったのですが、観光的にも楽しいような雰囲気を感じたのでまた、見学できたらいいなと思います。

**[小見山 会長]**

要望もあるようですのでよろしく申し上げます。

時間も来ておりますし、みなさんには熱心な議論ありがとうございました。以上をもちましてすべての審議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

それでは事務局にお返しいたします。

**[司会]**

長時間にわたりまして熱心なご議論、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

最後に、環境生活部次長よりお礼を申し上げます。

**[北川 環境生活部次長]**

(あいさつ) ～略～

**[司会]**

以上をもちまして、本日の審議会日程はすべて終了いたしました。本日ご議論いただきました議事録につきましても、後日まとめて皆様にお送りするとともに、県のホームページに掲載したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。なお、次回の審議会の開催は来年の2月ごろの開催を予定しております。これにつきましては、後日調整させていただきますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

本日は大変ありがとうございました。以上で審議会を終わります。